



イベントのチカラで、ココロの復興を。



# HAKUHODO

縦に並ぶ2つの赤い正方形 (Big Colon)。  
それが、社会の中での博報堂グループという「存在」。  
Big Colonは2つのものを向き合わせ、新しい出会いをつくります。

人：人。想い：想い。アイデア：アイデア。  
企業：企業。生活者：企業。生活者：メディア。  
出会いから、新しい対話が広がり、共鳴が生まれる。  
出会いから、想像を超えた化学反応が始まる。  
出会いは、たくさんの「イノベーション」をつくりだす。  
博報堂グループは、いつも、その真ん中にある存在でありたい。

ブランドカラーは赤。  
博報堂グループがその中で、  
情熱に満ちた存在であり続けたいという、願いを込めた色です。  
生活者と、企業と、メディアと、共に実現していく私たちであるために。  
新しいVIのもと、博報堂グループはひとつになって動いています。

本社 / 〒107-6322 東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂Bizタワー

# イベントガレッジ2012

## プログラム

～ココロの復興とイベント～  
イベント学会第15回研究大会

2012.9.11<sup>tue</sup> → 12<sup>wed</sup> **入場無料** 会場 / せんだいメディアテーク  
(仙台市青葉区春日町2-1)

主催 / イベント学会  
後援 / 仙台市、仙台商工会議所、河北新報社、仙台広告業協会

# 開会ご挨拶

イベントサロン2012実行委員長  
野川 春夫 (順天堂大学教授 イベント学会副会長)

イベント学会の研究大会は今回で15回目を迎えました。これまで東京を中心に各地で研究大会を実施して参りましたが、今年はいよいよ東北エリアでの開催となります。

イベントには様々なチカラがあります。驚きや発見、感動や興奮など、非日常的な空間で人の「こころ」を大きく動かすチカラがあります。東日本大震災による甚大な被害を受けたニッポンが元気を取り戻すためには、まず「こころの復興」が何より大切ではないでしょうか。今回の研究大会では、この「こころの復興とイベント」をテーマに『イベントサロン2012』と題した形で皆様と一緒にイベントの役割を考えていきたいと思ひます。

ここ仙台の地で2日間にわたって発表されるさまざまな提案やアイデアが復興を担う人々と地域社会にとって大きな支援となりますよう、またイベントを通して日本が国際社会に貢献できるよう期待しております。

最後に、この『イベントサロン2012』の開催にあたり、ご後援ご協力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げますと同時に、今後もイベント関係の皆様との相互交流が発展するよう祈念しましてご挨拶させていただきます。

## 9月11日(火) スケジュール 1階オープンスクエア

- 10:00～ 開 場 / 受付開始
- 12:00～ シンポジウム会場 受付開始  
司会：黒田 典子さん (フリーアナウンサー)  
—ピアノ演奏— 高塚 美奈子さん (宮城学院女子大学非常勤講師)

### 13:00～ 開 会

**開会宣言** 野川 春夫 大会実行委員長 (順天堂大学教授 イベント学会副会長)

13:05～ **来賓挨拶** 仙台市代表

13:10～ **基調講演** ～都市の復興とイベント～ (50分)

堺屋 太一 (さかいや たいち) イベント学会会長

1935年大阪生まれ。東京大学経済学部卒業(1960年)後、通商産業省入省。日本万国博覧会を担当。沖縄開発庁に出向中は沖縄海洋博や観光開発を手掛けた。1962年通商白書では「水平分業論」を展開し、世界的に注目される。

1978年に退官。作家として予測小説手法を開発。「油断!」「団塊の世代」「平成三十年」などのベストセラー小説のほか歴史小説「巨いなる企て」「峠の群像」「豊田秀長」「世界を創った男チンギス・ハン」を執筆。また、1985年に出版した経済理論「知価革命」は世界8ヵ国語に訳され、90年代の世界を予言した書として国際的評価を得ている。

(財)アジアクラブ理事長、国会等移転審議会委員、政府税制調査会委員などを歴任。1998年7月より2000年12月まで経済企画庁長官を務める。

2010年には上海万国博覧会日本産業館代表兼総合プロデューサーを務めた。



..... (休憩) 10分 .....

14:10～ **シンポジウム 第一部** 「イベントで元気を呼ぶ、人を呼ぶ、ビジネスを呼ぶ」(90分)

モデレーター：木島 明博さん (東北大学総長特別補佐)

パネリスト：志賀野 桂一さん (東北文化学園大学 教授)

橋本 裕之さん (追手門学院 地域文化創造機構特別教授)

丸山 富雄さん (仙台大学副学長 大学院スポーツ科学研究科教授)

..... (休憩) 20分 .....

16:00～ **シンポジウム 第二部** 「復興と国際イベント」(60分)

モデレーター：橋爪 紳也さん (大阪府立大学特別教授 イベント学会副会長)

パネリスト：ヨーコ ゼッターランドさん (日本体育協会理事、バルセロナ五輪銅メダリスト)

福井 昌平さん ((株)コミュニケーションデザイン研究所代表)

(17:00終了)

17:30～ **交流パーティ** 1階オープンスクエア (会費5,000円、任意参加)

## ■ 登壇者プロフィール Profile

### シンポジウム 第一部

#### ・モデレーター・

木島 明博 (きじま あきひろ) 東北大学総長特別補佐

1953年3月東京生まれ、1971年東北大学農学部卒業、1981年同大学院農学研究科水産学専攻修了、「シロサケの集団構造に関する遺伝学的解析」で農学博士。1983年高知大学農学部助手、アジ科魚類の集団遺伝学的研究、1987年東北大学農学部助教授、魚類集団の生態的特徴と遺伝的特徴の関係解析。1996年～東北大学農学部附属の女川にある臨海施設の初代教授。交配実験によるエゾアワビの有害遺伝子の推定で日本水産学会論文賞。マナマコの色彩多型と種分化の研究から

アカナマコが別種である可能性を提示。2006年東北大学総長特任補佐・総長室副室長、2008～2010年副学長(教養教育担当)、2010～2012年総長補佐、2008年～高等教育開発推進センター長、学生相談所長、キャリア支援センター長を歴任。2012年～副理事・総長特別補佐。2011年東日本大震災では女川町復興計画策定委員会委員として計画策定に参画、2012年からは文部科学省プロジェクト「東北マリンサイエンス拠点形成事業」の代表機関代表研究者として復興に取り組む。

#### ・パネリスト・

志賀野 桂一 (しがの けいいち) 東北文化学園大学教授

1973年4月仙台市役所入庁、同市企画市民局文化スポーツ部長のほか、宮城大学事業構想学部の非常勤講師など教育機関の兼職を経て、2008年4月より現職。仙台市で行ったアジア音楽祭、演劇祭、仙台国際音楽コンクール、仙台クラシックフェスティバルなど仙台市の文化行政を牽引してきた様々な文化事業・イベントを手がけその中心的役割をはたす。'08年からは、東北大学の

川内萩ホールの事業企画・運営に関するほか、地域文化イベントの企画や演出・プロデュース、国内外の観光・地域活性化の事例研究、アートマネジメントや、劇場・音楽ホール、創造都市政策などを研究している。NPO法人東北PFI・PPP協会理事('08年～)、一般財団法人「アーツエイド東北」代表理事('12年～)、文化経済学会、日本アートマネジメント学会に所属。

橋本 裕之 (はしもと ひろゆき) 追手門学院 地域文化創造機構特別教授

1961年大阪府生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学(演劇)専攻中退。博士(文学)。国立歴史民俗博物館民俗研究部助手、ミシガン大学日本研究センター客員教授、アイオワ大学人類学部客員准教授、千葉大学文学部教授、盛岡大学文学部教授などを経て、追手門学院地域文化創造機構特別教授・追手門学院大学社会学部教授。専攻は民俗学・演劇学。著書に『演技の精神史——中世芸能の言説と身体』(岩波書

店)、『目からウロコの民俗学』(PHP研究所)、『心をそだてる子ども歳時記12か月』(講談社)、『民俗芸能研究という神話』(森話社)など多数。第11回日本民俗学会研究奨励賞(日本民俗学会)、第1回本田安次賞(民俗芸能学会)受賞。2005年のNHK大河ドラマ『義経』の芸能考証を担当した。現在、大阪府市特別参与、岩手県文化財保護審議会委員、岩手県文化芸術振興審議会委員などを務める。

丸山 富雄 (まるやま とみお) 仙台大学副学長 兼 大学院スポーツ科学研究科教授

1949年東京都生まれ。東京教育大学大学院体育学研究科修了後、仙台大学に赴任。1990年仙台大学教授。専門はスポーツ社会学、地域スポーツ論。元東北地区大学ラグビー連盟副会長、柴田町スポーツ審議会会長等を歴任。現在、日本体育学会東北支部宮

城学会理事、公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団評議員等を務める。「スポーツ社会学の基礎理論」(不昧堂)、「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)、「現代スポーツ論」(中央法規出版)など著書多数。

## ■ 登壇者プロフィール *Profile*

### シンポジウム 第二部

#### ・モデレーター・

橋爪 紳也 (はしづめ しんや) 大阪府立大学特別教授 イベント学会副会長

- ・1960年 大阪市生まれ。
- ・2006年 大阪市立大学都市研究プラザ教授・大阪市立大学院文学研究科教授。
- ・2008年 大阪府立大学21世紀科学研究機構特別教授、同大学観光産業戦略研究所所長、大阪市立大学都市研究プラザ特任教授、水辺を活かした街づくりに関心を持つ橋下徹大阪府知事のもとで政策アドバイザー、大阪府特別顧問に就任。
- ・2009年 「水都大阪2009」プロデューサー。
- ・2010年 上海万博大阪館プロデューサー。
- ・一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会理事、大阪商工会議所都市再生委員会副委員長、中之島水辺協議会会長、大阪府文化振興会議会長ほか兼務。「モダニズムのニッポン」角川選書(2006年)、「ゆく都市くる都市」毎日新聞社(2007年)、「『水都』大阪物語」藤原書店(2010年)など、著書は約50冊。ディスプレイデザイン研究大賞、エネルギーフォーラム賞優秀賞、大阪活力グランプリ特別賞など受賞。

#### ・パネリスト・

ヨーコ ゼッターランド 日本体育協会理事 バルセロナ五輪銅メダリスト

- 1969年3月24日、アメリカ生まれ。6才から日本で育つ。12歳から本格的にバレーボールをはじめ、中学、高校では全日本選手権やアジアジュニア選手権で優勝するなど活躍し、早稲田大学では、チームを関東大学リーグ6部から2部優勝にまで導いた。その後、単身渡米し、アメリカナショナルチームの「トライアウト(入団テスト)」に合格。全米代表として92年バルセロナ五輪で銅メダルを獲得、96年アトランタ五輪では7位入賞。97年、ダイエーオレンジアタッカーズ(現 久光製薬スプリングス)とプロ契約し、Vリーグで活躍。チームを三度の日本一に導いた。99年6月に現役引退。現在はスポーツキャスターとして、各種メディアへ出演するほか、後進の指導、解説、講演、エッセー執筆など幅広く活動。また、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)、日本バスケットボールリーグ、日本体育協会の理事を務めるなど、バレーボール以外の分野でも活躍している。

福井 昌平 (ふくい しょうへい) (株) コミュニケーションデザイン研究所代表

- 1946年、鳥取県生まれ。電気通信大学応用電子工学科中退。企業・都市・地域の未来創造戦略の構築と活性化に向けた事業開発に取り組む。CI(コミュニケーション・アイデンティティ)計画の構築と経営戦略としてのコミュニケーション計画の重要性を提唱し、実践的なコンサルテーション・サービスを提供している。国鉄分割民営化総合広報計画(JRのネーミング開発)、全日空の機体デザイン開発プロジェクト、首都高VIシステム開発、恵比寿ガーデンプレイスCI戦略 開発の総合プロデュースの他に、ジャパンEXPO「山陰・夢みなと博覧会」、「北九州博覧祭」の企画事業プロデューサー、愛知万博「愛・地球博」チーフプロデューサー、「平城遷都1300年記念事業」チーフプロデューサーなどを歴任。現在は、麗水国際博の日本政府出展事業総合支援業務推進プロデューサーを勤めている。中心市街地商業活性化アドバイザー、「ESDの10年・世界の祭典」推進フォーラム事務局長、葛西臨海環境教育フォーラム理事長、八王子市産業振興アドバイザー、多摩桜プロジェクト特別委員会座長。



## 展示ブース 1階オープンスクエア

11日(火) 10:00~19:00  
12日(水) 10:00~17:00

1	順天堂大学	学生募集およびOBのコミュニティスペース
2	政策提言「東北復興博覧会」研究会	発表! 東北復興博覧会モデルプラン
3	(株)電通	東北六魂祭2012盛岡の実施報告
4	(株)電通	自社の書籍紹介
5	TSP太陽(株)	東北復興に関する自社の実績紹介
6	(株)乃村工藝社	百二十年、感動とにぎわいを。 —乃村工藝社のこれまでとこれから—
7	(株)博報堂	「東北みらいづくりWeek with Hitachi」のケーススタディ
8	(株)博報堂	自社の書籍紹介
9	イベント学会	イベント学会の活動と書籍紹介
10	イベント学会	似顔絵コーナー(田畑伴和さん) 2011年11月に似顔絵世界大会にて総合優勝した似顔絵作家・田畑伴和さんの似顔絵コーナーを開設します。 開設予定/9月11日・12日両日の10:00~13:00



## ポスター発表 1階オープンスクエア

11日(火) 10:00~19:00  
12日(水) 10:00~17:00

ポスター発表口頭説明/12日(水) 13:00~13:50 ポスター掲示スペースで行います。

	発表者	所属	テーマ
1	大栗 梢	順天堂大学	体育・スポーツ系学部におけるオープンキャンパスの動向
2	岡田 梓	順天堂大学大学院	全国障害者スポーツ大会の式典イベントの変遷
3	上代 圭子	東京国際大学	元スポーツ選手における東日本大震災に関するチャリティ活動の現状
4	鈴木 純子	日本リ・ファッション協会	ソーイングイベントの有効性と復興時における役割
5	田中 滋	サステナブルデザイン研究所	「自転車道環境整備の機運醸成イベント」 自転車コミュニティの創出と被災地域の活性化を促す自転車フェアの開催
6	譚 文彬	東海大学	イベント期間中のIT情報サービスの効果に関する研究
7	趙 梓淇	仙台大学大学院	中国の子どもの遊びと生活時間の世代間比較に関する研究
8	野川 春夫	順天堂大学	震災復興におけるダンスイベントの傾向と課題 教育機関に注目して
9	萩 裕美子	東海大学	スポーツイベントのアルバイトとボランティアの比較検討 —横浜F・マリノスのホームゲームを例として—
10	舟木 泰世	順天堂大学大学院	総合型地域スポーツクラブを活性化させるクラブ交流イベント ~東京都の地域スポーツクラブ育成支援を事例に~
11	宮野 賢一	順天堂大学大学院	震災復興に向けた総合型地域スポーツクラブのイベント ~被災4件の活動事例を通じて~
12	山田 亜沙妃	順天堂大学大学院	国民体育大会における式典イベントの傾向と課題 ~21世紀の国民体育大会に着目して~





## 9月12日(水) スケジュール



### 口頭発表 1階オープンスクエア 110:00~16:30

	A会場	B会場
第1グループ	座長 / 越川延明	座長 / 萩裕美子
10:00 ~ 10:23 発表15分 質疑8分	Facebookを用いた企画の有効性に関する事例報告 ～東日本大震災被災地支援こどもサマーキャンプ in 秋田～ ◎及川真一 (仙台大学大学院 スポーツ科学研究科)	東北地域における企業スポーツの価値創造に向けた取り組みに関する研究 ～国民体育大会と企業スポーツの関わりについて～ ◎山谷公基 (仙台大学大学院 スポーツ科学研究科)
10:25 ~ 10:48	イベントによる震災被災地支援の事例報告 ～FUKUSHIMA×ASKA Shining Hope Tree～ ◎柳澤博之 ((株)博報堂 コンベンションスペース事業部)	ノルディックウォーキングイベントの現状と今後 ◎谷津祥一 (順天堂大学)
10:50 ~ 11:13	東北六魂祭 2012 盛岡 ◎遠藤秀 ((株)電通 プロモーション事業局)	「復興ロードと地域の活性化」～復興のシンボルロード 自転車専用道を整備し被災地域の活性化を促す～ ◎田中滋 (サスティナブルデザイン研究所)
第2グループ	座長 / 小島敏明	座長 / 蓑島毅
11:15 ~ 11:38	ライブエンタテインメントビジネスの リスクファイナンス ◎大塚寛樹 (フィールアイ(株))	共に或ることに重きを置いたイベント企画の報告 ◎鈴木純子 (日本リ・ファッション協会)
11:40 ~ 12:03	イベントの実施を組み込んだ授業 ◎宮地克昌 (東京観光専門学校 観光サービス科)	日立 uVALUE CONVENTION 仙台 2011 ケーススタディ ◎鈴木正規 ((株)博報堂)
12:05 ~ 12:28	まち歩きイベント組織「六本木探検隊R」実践報告 —まち歩きから復興支援へ— ◎澤内隆 (帝国書院 / 文教大学)	G-8 サミット開催と国立国際会議場の整備を —震災復興と東北の将来的発展のための重要施策— ◎田部井正次郎 (城西国際大学)
休憩		
13:00 ~ 13:50	【ポスター掲示スペース】ポスター発表口頭説明 (1題3分×12題 および全体討議) 座長/野川春夫 1.大栗梢(順天堂大学) 2.岡田梓(順天堂大学大学院) 3.上代圭子(東京国際大学) 4.鈴木純子(日本リ・ファッション協会) 5.田中滋(サスティナブルデザイン研究所) 6.譚文彬(東海大学) 7.趙梓淇(仙台大学大学院) 8.野川春夫(順天堂大学) 9.萩裕美子(東海大学) 10.舟木泰世(順天堂大学大学院) 11.宮野賢一(順天堂大学大学院) 12.山田亜沙妃(順天堂大学大学院)	
第3グループ	座長 / 師岡文男	座長 / 宮地克昌
14:00 ~ 14:23	2012 世界トライアスロンシリーズ横浜大会における ISO 20121 実効性評価 ◎越川延明 (日本イベント産業振興協会主任研究員)	「イベントにおける救命事例と救命効果」 ～あなたの勇気で助かる命がある!～ ◎加藤良子 ((株)エンコーポレーション)
14:25 ~ 14:48	サステナブルイベントマネジメントシステム ～ISO20121の最新動向について～ ◎西利通 (SGSジャパン(株))	安心してイベントを楽しんで頂くために ～イベントプロデュースでの安全評価～ ◎貝辻正利 (神戸大学大学院工学研究科研究員)
14:50 ~ 15:13	東日本大震災復興支援研究テーマ第2弾 「スポーツ・イベントで持続可能な“真の復興”を!」 ◎太田正治 (日本イベント産業振興協会)	
第4グループ	座長 / 小林政則	
15:15 ~ 15:38	政策提言「東北復興博覧会」研究会 中間発表 「復興プロセスにおける博覧会事業の意義と役割」 ◎川西太士 ((株)博報堂)	
15:40 ~ 16:03	政策提言「東北復興博覧会」研究会 中間発表 「国際博覧会運動のこれからの連携の可能性探求」 ◎金田秀一 ((株)アサツ ディ・ケイ)	
16:05 ~ 16:28	政策提言「東北復興博覧会」研究会 中間発表 「東北復興博覧会としてのモデルプランの構築」 ◎福井昌平 ((株)コミュニケーションデザイン研究所)	

「その手があったか」と言われるアイデアがある。  
「そこまでやるか」と言われる技術がある。  
「そんなことまで」と言われる企業家精神がある。  
私たちは3つの力でイノベーションをつくる。  
人へ、社会へ新たな変化をもたらす  
イノベーションをつくってゆく。

# Good Innovation.

# Good Innovation.

# Good Innovation.

# Good Innovation.

Good Innovation.  
電通グループの企業理念です。

## dentsu